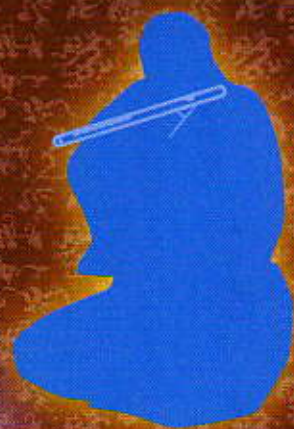


この国のクラシックを知らない人へ

京都能楽囃子方



同明会能

どうめいかいのう



時には、心に染みる幽玄の世界を
時には、躍動する激しいリズムを
時には、一対一の息を呑む緊張感を

平成26年2月22日[土]

午後12:30開演 (開場 午後12:00)

京都観世会館

京都市左京区岡崎円勝寺町44
Tel.075・771・6114

主催：一般社団法人 京都能楽囃子方同明会
協力：エラート音楽事務所

同明会…京都を中心に活動する能楽の囃子方の団体です。能楽の囃子の正しい伝承と技芸の向上のために日夜研鑽を積んでいます。大正6(1917)年に発足。昭和30(1955)年からは毎年1回、その成果を発表する公演を持ち、近年50回を迎えました。

<http://www.noh-doumeikai.com>

囃子堂…私共は常に能楽堂で舞台を踏んでおり、主役を引きたてる演奏をしております。このたびは、能楽堂という既成の空間を飛び出し、囃子方が主役になる新しい空間という意味で名付けました。現在は能の普及の為、各地で行っております。

《チケット発売日：12月7日(土)より》

※自由席・指定席の詳細は裏面をご覧ください。



小鼓
こぶし

桜の胴を馬皮で挟み麻紐で絞めてある。左手で持ち、右肩に担いで右手で打つ。左手で紐を調節して音色に変化を出す。皮が温度と湿度にも敏感で、柔らかい音ができる。



笛

能管ともいう。竹に細く切った薄い桜の木の皮を巻き、漆で塗り固めてある。吹き穴が1つ、指穴が7つの横笛で能の楽器の中で唯一メロディーを奏でる。

第五十九回 同明会 能

平成二十六年二月二十二日(土)
十二時半 始
於 京都観世会館

ごあいさつ 京都能楽囃子方同明会理事長 前川光長

番組組

金剛流 独調 右近 金剛龍謙 林 大輝

舞囃子

金剛流 八島 金剛永謙 石井保彦 森田保美

宇高竜成
今井克紀
金剛龍謙
豊島晃嗣

金春流 一調 葛城 高橋 忍 前川 雪

居囃子

宝生流 咸陽宮 河村 一郎 帆足 正規

小倉伸二郎
水上優
和久莊太郎

金剛流 一調 芭蕉 今井清隆 石井仁兵衛

舞囃子

喜多流 熊坂 大鳥輝久 井林久登 前川光範 杉信太郎

高林昌司
高林白牛
大島政允
高林伸二

…休憩 10分…

一管… 笛の奏者が一人で吹く。
一調… 打楽器(小鼓・大鼓・太鼓)の奏者一人と謡との演奏。
謡… 謡とは能の声楽のことで、登場人物役、斉唱役を担当します。能の詩章にはセリフの部分と謡う部分があり、セリフ部分は音楽的に作曲されていませんが、特定の抑揚をつけて謡われます。一方、謡の部分には節がつけられていて、優美に謡う「ヨウ吟」と勇壮に謡う「ツヨ吟」に分けられます。シテ方が動める。観世流・金春流・金剛流・宝生流・喜多流の五流がある。
囃子… 楽器は笛、小鼓、大鼓、太鼓の4種類があり、それぞれに専門の演奏者がいます。演奏形態は基本的に4人構成ですが、演目によっては太鼓が入らない3人構成になります。
居囃子… 四拍子(笛・小鼓・大鼓・太鼓)と謡が入る囃子。舞を舞う演者はなし。
舞囃子… 舞を舞う演者がある囃子。
素囃子… 四拍子だけで演奏する舞の部分の囃子。
甲ノ掛りなど… 常の演奏ではなく、特別演出である。小書(こがき)という。
※囃子方には指揮者がいません。主役を演じるシテの意向や、他の囃子方の演奏のやり方を感じ取りながら、各自のパートを演奏して全体の調和を作り上げます。また、一定の約束に従って掛け声でもタイミングを取り合います。

《能の囃子方》

ユネスコの第一回世界無形遺産に認定されたことで知られるように、能楽は世界に誇る日本の代表的な舞台芸術です。能楽とは、舞と音楽(謡・器楽)によって成立している総合芸術ですが、その内、器楽(笛・小鼓・大鼓・太鼓)を担当する演者を囃子方と言います。楽器の種類には笛・小鼓・大鼓・太鼓があります。それぞれの楽器に専門の演奏者がいて伝統の奏法を伝えています。上演に際しては、各楽器の担当者が一人ずつ、囃子座と呼ばれる舞台後方の位置に座って演奏します。ただし、能の曲柄によっては太鼓が入らないものや、「翁」のように小鼓が三人登場するものもあります。また上演に際しては指揮者も譜面も無い点が西洋音楽と異なります。それぞれの楽器の専門職を笛方・小鼓方・大鼓方・太鼓方と呼び、お互いに他役を兼ねることはできません。

能楽の囃子は、能をはなれてそれだけで演奏しても、十分に鑑賞できる高い芸術性を持っています。六百年に及ぶ伝統の中で磨きぬかれ、又以後の日本音楽の源流となった古典音楽ですが、純粹に現代に生きる音楽として聴いていただくことができるものです。「囃子堂」は、この能楽囃子の音楽性が、より身近になるように、様々なスタイルのものを揃えて構成し、お話を交えて聴いていただく演奏会を行っております。

観世流	大蔵流	観世流	宝生流	喜多流	金春流
定家	三番三	一調 胡蝶	天鼓	一調一管 望月	高砂
甲ノ掛リ 理留	鈴ノ段		パンシキ		祝言
観世喜正	舞囃子	舞囃子	和久莊太郎	舞囃子	山井綱雄
井林清一	渡部 論	浦山保親	武重正律	大島政允	谷口正壽
林 吉兵衛	古田知英	井上敬介	竹村英雄	杉 前川	曾和尚靖
光田洋一	伊吹吉博		杉 信太郎	杉 前川	前川光範
	山下守之		曾和博朗	杉 市光	森田保美
・・・休憩 20分・・・	曾和尚靖			和 長	
	左鴻泰弘				
深野貴彦			高橋憲正		佐藤俊之
浦田保親			水上優		高橋俊之
味方太朗			小倉伸二		井上八郎
坂真太郎			田崎甫		井上貴覚

終了 四時半頃

主催 京都能楽囃子方同明会

太鼓



樗(ケヤキ)の胴を牛皮で挟み麻紐で絞めてある。専用の台にのせ、2本の撥(はち)で打つ。鬼や精霊など超人間的な役の描写の際に使われる。賑やかで華やかな効果と静寂な雰囲気を出す2つの効果がある。

大鼓



左手で持ち左膝にのせ、右手で打つ。構造は小鼓と同じだが、それよりも大きく、演奏前に皮を焙って乾燥させ、固く絞めあげるので力強く高い音ができる。